

次の世代へ水を「育む」  
— 私たちができること —

豊かで清らかな安曇野の水を守り、次の世代に残して行くために、私たちにできることは何でしょうか。

日々の暮らしの中で身近にできる項目を左記にあげてみました。家族みんなで取り組んでみましょう。

- ### わたしたちができる 安曇野の水を守る取り組み4項目
- ① 水を大切に上手に利用する**
    - ・こまめに蛇口を閉め、流しっぱなしをやめましょう
    - ・節水機器を活用しましょう
    - ・雨水貯留タンクを利用し、雨水を洗車や庭・畑への散水に活用しましょう※市では雨水貯留タンクの設置に対して助成制度があります。詳細については生活環境課へお問い合わせください。
  - ② 水を汚すものを流さないようする**
    - ・排水に食べ物の残りや油を流すことは止めましょう
    - ・農業用水路に油や農薬が流出しないよう対策をとりましょう
  - ③ 水辺環境を守る**
    - ・地域でおこなわれる河川一斉清掃に参加しましょう
    - ・アレチウリなどの外来種の駆除活動に参加しましょう
    - ・農業用水路がつかまらないように管理しましょう
  - ④ 水を味わい、その恵みを実感する**
    - ・安曇野の水について知りましょう
    - ・市内各所にある湧水を味わいましょう（飲める箇所のみ）
    - ・安曇野の水で育った、地元産のニジマスや信州サーモン、わさび、農産物を食べましょう
    - ・水辺の生きもの観察会やカヌー体験などに参加し、水とふれあひましょう

また、水に関心を持つことも大切です。夏休み、安曇野の水に親しむ講座、催しへ出掛けてみませんか。市では、市民の皆さんに「水」について理解を深めてもらうために、下記のイベントを計画しました。この機会にぜひ「安曇野の水」に触れて、味わってください。

☎穂高総合支所内生活環境課  
(☎82・3131 ☎82・6622)

## 8/6 (土) 「2つのイベント同日開催」 安曇野の水を知ろう！

### ① みんなで学ぶ 「安曇野の水」巡り

**時間** 8:40 ~ 12:30 (雨天決行)  
**場所** 堀金総合体育館前 (集合・解散)

安曇野の水・地下水を知っていただくため、安曇野の堰と湧水を巡る講座です。黒沢川、拾ヶ堰、安曇野わさび田湧水群、地下水位・湧水量観測点などを散策し、安曇野の地下水の仕組みを学びます。散策のあとは、シンポジウムで理解を深めましょう。

■主催 安曇野市、安曇野市環境基本計画推進会議

■対象 小学生高学年以上～一般 ■定員 50人 (先着順) ■参加料 1,000円 (保険・昼食代含む)  
■持ち物 参加料、飲み物、筆記用具 ■服装 帽子、歩きやすい服装、靴、雨具  
■申込受付 7月25日(月) 午前8時30分から、電話にて生活環境課へお申し込みください。

### ② 「地下水で拓く安曇野の未来」シンポジウム

**時間** 13:00 ~ 17:00 (開場 12:00)  
**場所** 堀金総合体育館前サブアリーナ

地下水は地域の共有財産という立場から、日本の水文化や安曇野の地下水について理解を深めるシンポジウムです。(申込不要、入場無料)

■主催 安曇野市、安曇野市地下水保全対策研究委員会 ■共催 安曇野市水資源対策協議会

<b>基調講演</b> 「日本の水文化と地下水」 講師：高橋 裕 氏 時間：13:15 ~	<b>パネルディスカッション</b> 「地下水で拓く安曇野の未来」 時間：14:30 ~	<b>イベント・展示</b> 利き水コンテスト (正解者にプレゼント進呈)・パネル展示・地下水の現状と将来予測 ほか 時間：12:00 ~
--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------

# 市政トピックス

## ■新本庁舎、基本設計業者を決定

市役所新本庁舎の基本設計業務委託先を選考するため、市では6月30日、公開プロポーザル方式による2次審査会を豊科交流学習センター「きぼう」で開催し、最優秀と次点の2つの共同企業体を決定しました。

この日発生した地震の影響で開催時間を30分繰り下げて始まった安曇野市新本庁舎建設基本設計者審査委員会(委員長・古谷誠章早稲田大学教授)は、5月24日に行われた1次審査、また同27日に行われた技術提案発表会によって、市外大手設計業者と市内設計業者によって組まれた5つの企業体より基本設計の提案発表を受けました。



各提案が張り出された

審査会は質疑、決定まで全てが公開で行われ、市民など約70人が傍聴しました。審査の中で委員からは、「建物の裏側が裏にならない作り。周りに優しい」「1000年経っても魅力を感じるものではない」といけません。機能なことだけを考へてしまうと結局は長く持たない」「市民が行ってみようと思う魅力がある」「東日本大震災後の庁舎は、中にある余剰空間をどう生かしていくかが大事」などの意見が出されました。

決定は投票により行われ、出席委員7人の投票で4票を獲得した「内藤(東京)・小川原・尾日向(市

内)設計共同企業体」を最優秀に、3票を獲得した「山下(東京)・清沢・バイオ(市内)設計共同企業体」を次点に決定しました。

審査会後、報告書を受け取った宮澤市長は、「建設に向けて大きく一歩前進となった。周辺環境に配慮し、災害にも備え、市民が使いやすい庁舎になって欲しい」と話しました。

市では今後、本年末までに基本設計を作成する予定です。なお、提案内容などは後日お知らせします。



古谷委員長から報告を受ける宮澤市長

## ■総合支所等整備検討市民会議 公募委員を募集します。

市では新たな本庁舎の建設にあわせ、5カ所の支所の整備について検討を行うため、各支所ごとに総合支所等整備検討市民会議を設置します。そこでこの会議に公募委員としてご参加いただける皆さんを募集します。

この会議は、それぞれの地域審議会からの提言を踏まえて、支所等の整備のあり方や取り壊しになる支所の跡地利用について調査検討を行い、市が策定する基本計画にご意見を反映させていただくことを目的としています。

委員は、各地域の区長会、地域審議会から選任された委員、地域の公民館長、学識経験を有する委員、市内に住所を有する公募委員により構成され、各会議ごと10人以上とします。

■募集人数：支所の検討市民会議ごとに3人以内  
■任期：地域ごとの基本計画が策定される日まで  
■応募方法：所定の応募用紙に必要事項を明記のうえ、「新たな本庁舎建設後の〇〇総合支所等の整備をこう考える」をテーマに400字程度(書式自由)にまとめ持参、郵送のいずれかで提出してください。  
■受付期間：7月25日(月)から8月10日(水)まで  
■お問い合わせ先：本庁舎内 庁舎建設推進課 ☎71・2000 ☎71・5000

■応募資格：市内に住所があり、年齢20歳以上で、平日に開催される会議に出席できる人  
■提出先：安曇野市豊科4932番地46 市役所本庁舎 庁舎建設推進課または、希望する総合支所の地域支援課 まちづくり推進係まで